

「濃厚濃密！ ロシア音楽の世界 ～Denseness of Russian Soul」

トラック	楽曲	作曲家	演奏者
1	交響曲第24番 ヘ短調 Op.63 第二楽章 Symphony No.24,Op.63 – II. Molto sostenuto	ニコライ・ミヤスコフスキー (1881-1950) Nikolai Yakovlevich Myaskovsky	モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団 ドミトリ・ヤブロンスキー(指揮)
2	6つの前奏曲 Op.13 第5番 ニ長調 6 Preludes,Op.13 – V.Prelude No.5:Allegro	アレクサンドル・スクリャービン (1872-1915) Alexander Scriabin	エフゲニー・ザラフィアンツ(ピアノ)
3	ピアノ三重奏曲第1番 ニ短調 Op.32 第三楽章 Piano Trio No.1,Op.32 – III. Elegia: Adagio	アントン・ステパノヴィチ・アレンスキー(1861-1906) Anton Stepanovich Arensky	スペクトラム・コンサーツ・ベルリン
4	歌劇「ルスランとリュドミラ」Op.5 序曲 Ruslan and Lyudmila – Overture	ミハイル・イヴァノヴィチ・グリンカ(1804-1857) Mikhail Ivanovich Glinka	スロヴァキア放送交響楽団 アンソニー・ブラモール(指揮)
5	3つのバガテル Op.53 第1番 嬰ト短調 3 Bagatelles,Op.53 – Bagatelle No.1	アナトーリ・コンスタンチノヴィチ・リャードフ(1855-1914) Anatoly Konstantinovich Liadov	ジュリア・ジルバーキッ(ピアノ)
6	3つのバガテル Op.53 第2番 ト長調 3 Bagatelles,Op.53 – Bagatelle No.2	アナトーリ・コンスタンチノヴィチ・リャードフ(1855-1914) Anatoly Konstantinovich Liadov	ジュリア・ジルバーキッ(ピアノ)
7	3つのバガテル Op.53 第3番 変ト長調 3 Bagatelles,Op.53 – Bagatelle No.3	アナトーリ・コンスタンチノヴィチ・リャードフ(1855-1914) Anatoly Konstantinovich Liadov	ジュリア・ジルバーキッ(ピアノ)
8	組曲「仮面舞踏会」より「ワルツ」 Masquerade – Waltz	アラム・イリイチ・ハチャトゥリアン(1903-1978) Aram Il'yich Khachaturian	サンクトペテルブルク交響楽団 アンドレイ・アニハーフ(指揮)
9	徹夜禱 Op.37 わが霊や種を讃めあげよ All-Night Vigil,Op.37 – “Vespers” Bless the Lord, O my soul	セルゲイ・ラフマニノフ(1873-1943) Sergey Rachmaninov	Erja Wimeri (コントラルト) フィンランド国立歌劇場合唱団 エリク＝ウーロフ・セーデルストレム(指揮)
10	組曲「火の鳥」～魔王カステイの凶悪な踊り The Firebird – King Kastchei's Infernal Dance	イーゴリ・ストラヴィンスキー(1882-1971) Igor Stravinsky	ベルギー放送フィルハーモニー管弦楽団 アレクサンダー・ラハバリ(指揮)
11	交響曲第1番 ト短調「冬の日の幻想」Op.13 第二楽章 Symphony No.1,Op.13 – “Winter Daydreams”:II.Adagio cantabile ma non tanto	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840-1893) Pyotr Il'yich Tchaikovsky	ポーランド国立放送交響楽団 エイドリアン・リーパー(指揮)
12	ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26 第一楽章 Piano Concerto No.3,Op.26 – I.Andante:Allegro	セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953) Sergey Prokofiev	クンウー・バイク(ピアノ) ポーランド国立放送交響楽団 アントニ・ヴァイト(指揮)
13	24の前奏曲とフーガ Op.87 フーガ第4番 ホ短調 24 Preludes and Fugues,Op.87 – Fugue No.4:Adagio	ドミートリー・ショスタコーヴィチ(1906-1975) Dmitry Shostakovich	コンスタンティン・シチェルバコフ(ピアノ)



濃厚、濃密！ロシア音楽の世界～Denseness of Russian Soul

Яркость и густота красок русской музыки

ライナー&ノーツ

tr-1 ミャスコフスキー：

交響曲第 24 番へ短調 Op.63

第二楽章

ニコライ・ミャスコフスキー（1881～1950）は士官学校を経て軍人となったが、25 歳でモスクワ音楽院に入学し、リャードフとリムスキー＝コルサコフに作曲を学んだ。作品は 19 世紀のロマン的な色合いを湛えており、オペラやバレエのジャンルでも作品を残したが、27 曲の交響曲が彼の代表作とされている。

交響曲第 24 番は 1943 年の作品。1942 年、第二次大戦の混乱を避け、キルギスで過ごしていたミャスコフスキーの元に、友人の音楽学者・編集者のウラディーミル・デルザノフスキーの訃報が届いた。さらに翌年にはラフマニノフもこの世を去った。敬愛する者たちの他界は、少なからずミャスコフスキーの創作に影響を与えたことだろう。作品は 3 楽章から成るが、本ディスクには激情的な第 2 楽章を収めた。



tr-2 スクリャービン：6 つの前奏曲
Op.13 第 5 番二長調

アレクサンドル・スクリャービン（1872～1915）は、モスクワ音楽院のピアノ科でラフマニノフと同級生だった。ピアニストとしての技量はラフマニノフに及ばなかったものの、作曲における独自の視点、先駆的なアイデアにおいてはラフマニノフを凌いでいた。なかでも代表的な着想が「神秘和音」である。彼は生涯に 10 曲のピアノソナタを残したが、第 4 番（1903）以降はこの独特な浮遊感、何かを暗示するような神秘的な和音を用いてユニークな世界観を投影させた。そんなスクリャービンも、創作の初期段階では、ショパンの影響を色濃く残していた。前奏曲 Op.11 を全調で作曲するというアイディアにも、ショパンの影響が指摘されている。6 つの前奏曲 Op.13 は 1895 年、スクリャービンが 23 歳の時に作曲された。6 曲すべてを合わせても 9 分程度。第 5 番は 1 分に満たない小品で、右手の重音が可憐な響を生み出している。



tr-3 アレンスキー：ピアノ三重奏曲
第 1 番二短調 Op.32 第三楽章

アントン・ステパノヴィチ・アレン

スキー（1861～1906）はペテルブルク音楽院でリムスキー＝コルサコフに作曲を学んだ。とくにピアノ作品がよく知られており、ピアノ三重奏曲第1番は、彼の代表作である。ロシアの偉大なチェリスト、カルル・ダヴィドフの追悼のために書かれた。この楽章からも感じられるとおり、アレンスキーの作風はロマンティックで叙情性豊か。モスクワ音楽院で後進の指導にあたり、教え子にはラフマニノフやスクリャービンがいる。



tr-4 グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」Op.5 序曲

「近代ロシア音楽の父」と呼ばれるミハイル・イヴァノヴィチ・グリンカ（1804～1857）は、裕福な地主の家庭に生まれ、農奴たちの楽団による演奏を聴いて育った。役所勤めを経たのち、ベルリンに留学し西洋音楽を学ぶ。ロシア語初のオペラ「皇帝にささげた命」が大成功を収めた。オペラ「ルスランとリュドミラ」は1842年にサンクトペテルブルクで初演された5幕のオペラ。キエフ大公の娘リュドミラを、騎士ルスランが悪魔のもとから救い出す物語。今日ではオーケストラのコンサートの幕開けの一曲などとして、この序曲がよく演奏される。



tr-5,6,7 リャードフ：

3つのバガテル Op.53

第1番 嬰ト短調、第2番 ト長調、
第3番 変ト長調

アナトーリ・コンスタンチノヴィチ・リャードフ（1855～1914）はロシア5人組やチャイコフスキーらの次世代にあたる作曲家。ペテルブルク音楽院で5人組の一人、リムスキー＝コルサコフから作曲の基礎を習った。後に彼自身も母校で教え、プロコフィエフやミャスコフスキーを育てた。ロシアに古くから伝わる民謡を素材とした作品のほか、メルヘンチックで可愛らしいピアノ小品を数多く残している。3つのバガテル Op.53は1903年に出版された作品で、リャードフのミニアチュール作家としての魅力を存分に伝える。



tr-8 ハチャトゥリアン：

組曲「仮面舞踏会」より 「ワルツ」

アラム・イリイチ・ハチャトゥリアン（1903～1978）が作曲家として活躍したのは、スターリンが実権を握り、音楽は国家や人民にわかりやすくあるべきだとする「社会主義リアリズム」が唱えられていたソビエト連邦時代である。彼は「人民芸術家」として当局から認定を受け、レーニン賞やソ連国家賞を何度も受賞している。「仮面舞踏会」はレールモントフという作家

が書いた演劇で、1941 年に上演された。ハチャトゥリアンはこの劇のために 14 曲の音楽を付けたが、その中から 5 曲を組曲としてまとめた。「ワルツ」はその第 1 曲目にあたり、とくに親しまれている。



tr-9 ラフマニノフ：徹夜祷 Op.37
わが霊や種を讃めあげよ

日本では「晩祷」とも称されるこの作品は、セルゲイ・ラフマニノフ（1873～1943）が 1915 年に作曲したもので、アルトとテノールの独唱をともなった無伴奏混声合唱曲である。正教会の単旋律の聖歌および、ラフマニノフ自身による旋律に基づいて、彼らしい分厚いハーモニーが付けられている。テキストは教会スラヴ語で書かれており、祭日の前夜から早朝にかけて行われる徹夜祷のための奉神礼音楽の形式にのっとっている。ロシア革命後はソ連当局により宗教音楽の一切が演奏禁止となったため、長らく封印されていた作品だが、ソ連崩壊後に演奏されることが多くなった。晩課・早課・第 1 時課という三部を構成する全 15 曲から成り、「わが霊や種を讃めあげよ」は早課にあたる第 11 曲目で、ラフマニノフ自身による旋律を基にしている。



tr-10 ストラヴィンスキー：

組曲「火の鳥」～魔王カスチェイの凶悪な踊り

バレエ音楽「火の鳥」は、1910 年、天才興行師ディアギレフの率いるロシア・バレエ団のために、イゴール・ストラヴィンスキー（1882～1971）が 28 歳の時に書いた。彼の名を世に知らしめることになった記念碑的作品である。パリで大成功を収めたこのバレエは、後に続く《ペトルーシュカ》や《春の祭典》とともにストラヴィンスキーの“三大バレエ”の一つとなった。バレエの内容はロシア民話をベースとしており、魔王カスチェイに捕われていたツァレヴナ王女とイワン王子が、火の鳥の助けを得て結ばれるというもの。魔王一党が踊る「凶悪な踊り」は作品のクライマックス。強烈な一打で開始し、迫力に富むエキゾチックなメロディーが印象的である。



tr-11 チャイコフスキー：

交響曲第 1 番 ト短調「冬の日」の幻想」
Op.13 第二楽章

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840-93）は、ドイツ・ロマン派の音楽様式を学び、ロシアで育成されたプロの作曲家として活動した最初の人物である。チャイコフスキーには番号付きの交響曲が全部で 6 つあるが、第 6 番の「悲愴」とならび、

第1番には「冬の日の幻想」というタイトル（副題）が付けられている。ただこのタイトルは、正確には第1楽章に付けられたものであり、このディスクに収めた第2楽章は「陰気な土地、霧の土地」と題されている。寒さの厳しい冬のロシアの情景が描かれたこの交響曲を、チャイコフスキーはモスクワ音楽院で教鞭を取る直前（1866年）に着手した。その後改定を重ね、最終的な形に落ち着くまでは20年以上の歳月をかけた。



tr-12 プロコフィエフ：
ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26
第一楽章

優れたピアニストであったセルゲイ・プロコフィエフ（1891～1953）は、5つのピアノ協奏曲を完成させている（第6番は未完）が、そのほとんどがプロコフィエフ自身の演奏活動で披露するために書かれたものである。プロコフィエフはロシア革命の混乱を避けようと、1918年にはアメリカへと渡った（途中日本にも滞在）。アメリカとヨーロッパを行き来する中、オペラ《3つのオレンジへの恋》を書いているが、彼は同時期に（1921年）このピアノ協奏曲をパリで完成させ、亡命先のアメリカで自ら初演を行った。闊達でリズムカルなピアノが華々しく活躍する。高度な演奏技術を要す

るが、昨今ではピアノ・コンクールのファイナル・ラウンドで、この協奏曲を演奏するコンテストは多い。



tr-13 ショスタコーヴィチ：
24の前奏曲とフーガ Op.87 フーガ
第4番 ホ短調

ドミートリー・ショスタコーヴィチ（1906～1975）はソ連当局から若き芸術家の旗手として持ち上げられたが、その後オペラ《ムツェンスク群のマクベス夫人》を「荒唐無稽」と厳しく批判され、表面的には当局の意向に沿った音楽を書くという抑圧の中で活動が強いられた。24の前奏曲とフーガ Op.87 は、そうした当局からの目に晒されながらも、自らが得意としたピアノに活路を見出し、内省的な世界観を打ち出した傑作。J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集と同様に、24の全ての調を網羅している。というのも、この作品のアイデアは、1850年にライプツィヒで行われた、バッハ没後200年記念行事に招かれた際に得られたのである。同イベントで行われたバッハ・コンクールで優勝したタチアナ・ニコラーエワの演奏にも触発されたという。作品は翌51年に完成し、52年にニコラーエワによって全曲初演がなされた。

クラシック音楽ファシリテーター

飯田有抄

OTTAVA クラウドファンディングによるコンピレーション CD プロジェクト
第5弾にご参加頂いた方々（順不同）

うさぎのマーチ	桃	嶋田 等	仲井 亨	しゅんぼん	Sally
富本 広一	星のおじいさま	とらきちのはは	ひまたらう	彩の国のNob	kohi
えごた	カジヤン	ヒロエム	カギしっぽのKey	Ottavist	森の小人
チュリビーの	横浜のコアラ	@虚空蔵山	junbou	えいとなつぷ	とみちゃん
京都のにゃんもにゃいと	星空	せいうち	さんどびいぶる	タカオ	くうPAPA
水戸稲郎	uma_uma	EMIKO HIRANO	kafka	Kaya	お水
エムアールがくげい	キャラメル小僧	彷徨える台湾人	アンダンテみどり	だらりん	ぼーろ
余市	岸 拳也	pure	おじさんトランベッター	Short Cut King	ババゲーナ
河野ミチオ	ニヤスラー	坂谷忠夫	ゆうちゃん	戸部 繁樹	おさかな
長井進之介	パッサカリア&妻	HIROTOSHI KATO	絵描きパンダ	ふうらん	ちゅん助
国境の南	MINOR_KING	河本重春	ペンギン&あんじー	長谷川 光紀	I.Tsujimoto
かっぱ	飯田有抄	チエノワ	いせとある	たかーお	DJモーリー
北陸のカニ男	村松佐よみ	堅香子	ASATO	須藤崇	ユカワ
ミケ	奥山美菜子	スモールキャット	さんどばた	小田島 禮子	おっちい
どれみふぁ・ソラソラ	ピンキーリング	lucy-martin	hamamasa	テンテン	TARO AZUMA
masuzo	ミセス・マーフル	アイキャン	どっちっち	山内 涼	森/ババ
ソルティードッグ	PAKU	syuri	テリー・ケイ	シダタクマ	まいにちえがお
町田の三毛猫	さびしがりのひまわり	オスカルフランソワ	Y Stella	みおのはは	タカさん
ルシア	田中 克弥	iroha	すすき とものり	増田 和代	那音雅久
じゃーにー	眠りの森のしげる	アルベンザルツ	にわか笛吹ランナー	ミラネーゼ	さなぼんファミリー
Luppara	レイラニ	喜島 顕	小山 邦四郎	アキバのアキンド	マキヲ
マローネ	PiyoSys.	サイヤ	矢口 泰介	とうご	Y.Kayama
しりとり3兄弟の母	村田和夫	yasuo	yoriko	ひろりんご	自称半分ピアノリスト
コニストン	中村 祐介	あに1 ごろう	pienadigratia	ダロ美	橋川 雪葉
mayumopapa	齊藤 直輝	うみしま	kenhiro	フルートランアクラ	Yoshitaka Sato
ヨハネス アントン ビオ	Miyuki.A.T	五十嵐 伸一	こくまや	イタノフ	柏 之雄
オーチャム	KashmirBlue	小村直弘	まつもとようご	クラシック大好き	Carlo
にゃんごろー	ヴォルフツキー	ミロン	Kyuchan7	がんだるふ	5月の枯葉
Amenbo Akaina	カラベル	ごじま	柴田雅樹	うらがだぬき	ファーストグリーン
飯田橋	Norie Inafuku	松島 薫子	町火消し	川端 美和	Hiroshi Toyota
ドミートリ・ウマガスキー	ぶーちゃんママ	高橋輝紀	Baashha	竹鶴姐さん	CHISATO K.
くまぜみ	鈴木好	山本裕基	えっぽこ	FUMIE SHIOTANI	鈴木 修
parksidediner	M@KO<マコ>	かよコフ	コワクリ	ばっかさんの妻	生駒のY
なぜかあんでい	Masumi	赤ダルマ	安川香菜	ニモトラケのサケ	ツインスEM
Mikio Kamagata	SeikiMori	奥野 明	きよち	藤牧芳純	Michiyo.O
曾田 京志	シャコンヌ	もちょ	飯塚佳男	新月	山でコーヒー
くんくんよばちゃん	くろわぜ	たんたん	う～にゃ&ママ&ババ	加藤 武彦	村岡俊也
マヌー・メイアン	かすと	ばんだ～ら	ベンちゃん	アフ&ゆきの嫁	小川正則
石井咲	ゆーりか	おみかん竜王	カラカラ	印旛沼地方のJAMANEKO	ババジャンプ
MARKUN	ヨジオキ	ビバのん。	チャイ子ファミリー	レブラコーン	KUROSAKI
Masami Suzuki	トカゲ印のバーン	甲浦奥谷	田畑 勉	ハマデウス	reclairdelune
ばげちゃん	くらにゃんこ	桐田敬久	雨水	てつ	ももち
OTTAVAを愛する元乙女	三中若緒	ウォルティアー	Kババ	急な雨	リコ太郎
小舟（こぶね）	堀江勇人	ゆきのこ	espressivo	nobiste	田廣憲司
宇佐美勝哉	なりま姫	ごまちのおくび	アイラブ☆ブルシェンコ	あいちのあっちゃん	石井秀幸
川崎由紀子	BOND' 樋田誠	松華堂弁当	:Hastings	Makoto Asai	森江秀樹
野田 充	あふくさん	保坂文世	森 薫	サファリアみどり	小川 英男
寺岡文男	アレテ	北海道のさぼん	ビックリング	Yoshiro Kiriyama	たまむ
深雪 好	池崎 理	チャイコガスキー	jimpei	ドルチエでいきましょう	Fゲニー・オネーサン
べっぺ	Satoru SUZUKI	アズキ色	kalmia	はこぶぐ	ふゆみ
ピンカミノール	若林	カンバレ	タナカ タカシ	原田 寛	あおしげ
田中彰真	ヒロタコーヴィチ	番頭	Florena	晴れてもカッパ	チャルムツシュ
とみい	すっとことん	うきゅびかの父	やつはし	しばみー@しばみみ	りりい
関 孝徳	日進月歩	アートファニチャーギャラリー 三木黄太			

～ ほか多数の方の応援により、CD 制作を実現、お礼の特別番組生放送をお届けしました ありがとうございました～

